



今月の題字
箱石翼君
(大沢小3年)

町のおだい

山田幼稚園でサッカー教室 ボールをける楽しさ味わう

園児を対象にしたサッカー教室「キッズ巡回指導」が7月1日、山田幼稚園で開かれました。財団法人日本サッカー協会（JFA）が幼児普及育成事業の一環として実施しているもので、この日はJFA公認キッズリーダー2人が指導。参加した年長組18人はドリブル散歩やドリブル鬼ごっこなどのボール遊びを通じ、ボールをける楽しさを味わっていました。最後に指導者から絵本やステッカーなどがプレゼントされ、子供たちは大喜びでした。



嵯峨流藤舞会から温かい善意 町の発展願い10万円を寄付

6月29日、日本舞踊の嵯峨流藤舞会（北田美津子会主）が町に10万円を寄付しました。町内外約60の企業・団体の協賛により6月19日に町中央公民館で開催した嵯峨流藤舞会創立10周年記念チャリティー公演の益金を贈ったもので、贈呈式には北田会主ら4人が役場を訪問。北田会主が「町の発展のため役立ててください」と沼崎喜一町長に寄付金を手渡しました。これに対し沼崎町長は「有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



花の香りのコンサートに150人 美しい音色で聴衆を魅了

7月16日、「花の香りのコンサート」が花まりんを会場に開かれました。これは花まりん主催の「プチ花博」のイベントの一環として行われたもので、同園には150人が来場。会場では美空ひばりさんの名曲「川の流れるように」など親しまれている曲から、バッハの名曲「シチリアーノ」などのクラシックまで13曲が演奏されました。聴衆は福士美絵子さん（長崎・28）によるピアノと舟田鮎子さん（飯岡・27）によるフルートが奏でる美しい音色に、じっと聞き入っていました。

「ホタテ海童神社」の神事 各種イベントの成功を祈願

7月4日、「ホタテ海童神社」の神事が山田町商工会館で行われました。山田町商工会青年部と女性部が実施したもので、神事には両部員ら16人が出席。両部の代表が玉ぐしをささげた後、女性部3人が「ホタテ海童音頭」踊りを奉納しました。同神社は昭和61年、町特産のホタテと伝説のかっぱを結び付けたホタテ海童を祭神として建立。両部員の皆さんは商店街の活性化と観光客の水上安全のほか、同商工会が中心となって組織する山田の魅力発信実行委員会主催の各種イベントの成功を祈願していました。



「緑の募金」に125万円 町内小学校からも真心届く

7月19日、織笠小学校（相模貞一校長・児童109人）の湊千明さん（6年）、佐々茜さん（同）、清水璃穂さん（同）が役場を訪れ、「緑の募金運動」で集めた4,500円を県緑化推進委員会山田支部協議会（会長・沼崎喜一町長）に届けました。これに対し、代理で受け取った川村永爾助役が「ありがとうございます。皆さんの善意を大切にさせていただきます」とお礼を述べました。

3月1日から5月31日まで行われた同運動には、町内各小学校や職場、町民の皆さんから総額1,248,265円が寄せられました。この募金は緑をはぐくむ緑化推進などに使われます。ご協力ありがとうございました。



県下少年剣道大会 山田斉心館が3位入賞 7年ぶりの全国大会出場へ

県知事杯争奪第44回県下少年剣道大会で山田斉心館が3位に入賞しました。大会は6月5日、県営武道館で行われ、小学生の部には121チームが参加。初戦から順調に勝ち進んだ山田斉心館は準決勝で農武館（花巻市）と対戦。惜しくも2対3で敗れましたが堂々の上位入賞を果たし、7年ぶりの全国大会への切符を手に入れました。

◆出場選手 写真左から佐々木竣哉（船小6年）、湊千明（織小6年）、奈良岡拓志（南小6年）、及川智弘（船小6年）、川向志歩（同6年）、佐々茜（織小6年）